

母と浅草橋に行くときは、新宿駅から中央線の快速に乗りました。外堀越しの街並みや神田川を見るのが楽しみでした。御茶ノ水駅で赤い中央線快速から総武線の各駅に乗り換えました。私はこの黄色い電車が好きで、盛んに絵に描いたので、黄色のクレヨンが一番最初に減ったのをよく覚えています。これも半世紀も前の思い出で、今はこんな古風な電車は東京のどこにも走っていません。



これが完成した絵です



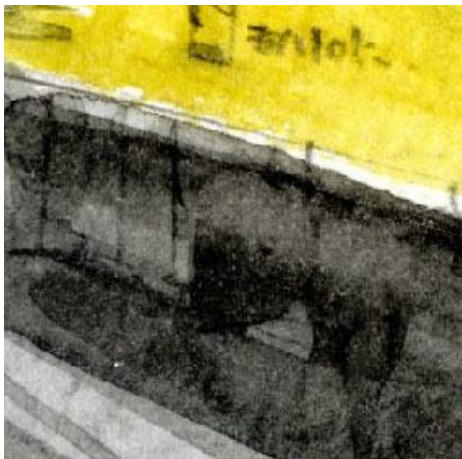
1、電車は顔(前面)が何よりも大切です。前照灯(ヘッドライト)、方向幕(行先表示)、前面窓などを、できるだけ正確に描きます。



2、床下は暗いので難しいです。尾灯の赤、連結器などを、あえてあまり丁寧にならないように描きます。



3、この電車は、発車直後を「見送る」構図なので、側面のドアは閉まっています。当時は点字ブロックはありませんでした。



4、向かいの線路の床下機器、暗いので「何か機械があるな」という程度で良いでしょう。



5、これも古風なホームの行先表示器。文字は「不透明の白ペン」(写真に文字を書くペン)で書きました。



6、人物が下手です。どうせなら母と幼い私の姿を描けばよかったと後悔しました。